



# つがる市議会だより

令和元年 第2回(9月)定例会  
の内容をお伝えします

第63号

令和元年11月発行



## つがる物語

狄ヶ館(えぞがたて)ため池  
(森田地区)

えぞがたて 狄ヶ館ため池は、ながまえ 岩木山麓の長前沢を水源として、1672年に築堤されました。しかし、新田開発が進むにつれ、深刻な水不足のほか、排水不良などによる冠水被害に多くの農民は悩まされます。その後実施された、ため池の改修工事やダム工事は困難を極めました。かつて葦の自生していた湿地は多くの人々の努力によって開拓されて、恵み豊かな米どころとなっています。

つがる市の農業用ため池の数 156カ所(平成25年調査)  
資料：ため池台帳/農林水産課

## 目次

- 2~4 定例会の概要
- 5 一般質問って?
- 6~8 一般質問6議員が市政を問う
- 9~10 予算・決算特別委員会の概要
- 11 議員研修
- 12 気になるワード

# 9月定例会の議決結果は以下のようになりました。

(9月2日～9月13日) 12日間

◎は全会一致

番号	件名	審議結果	議決結果
市長提出議案			
予算	32号	令和元年度つがる市一般会計補正予算(第4号)案	◎ 可決
	33号	令和元年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案	◎ 可決
	34号	令和元年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)案	◎ 可決
	35号	令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第2号)案	◎ 可決
決算	36号	平成30年度つがる市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	37号	平成30年度つがる市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	38号	平成30年度つがる市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	39号	平成30年度つがる市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	40号	平成30年度つがる市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	41号	平成30年度つがる市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
条例	42号	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例案	◎ 可決
	43号	つがる市手数料条例等の一部を改正する条例案	◎ 可決
	44号	つがる市木造ふれ愛センター条例等の一部を改正する条例案	◎ 可決
	45号	つがる市消防団条例の一部を改正する条例案	◎ 可決
	46号	つがる市カントリーエレベーター条例及びつがる市ライスセンター条例の一部を改正する条例案	◎ 可決
	47号	つがる市農村環境改善センター条例等の一部を改正する条例案	◎ 可決
	48号	つがる市つがる地球村条例等の一部を改正する条例案	◎ 可決
	49号	つがる市公共下水道条例の一部を改正する条例案	◎ 可決
	50号	つがる市印鑑条例の一部を改正する条例案	◎ 可決
	51号	つがる市保健福祉館設置条例等の一部を改正する条例案	◎ 可決
	52号	つがる市子育て支援センター条例及びつがる市児童館条例の一部を改正する条例案	◎ 可決
	53号	つがる市公民館条例及びつがる市柏ふるさと交流センター条例の一部を改正する条例案	◎ 可決
契約	54号	工事の請負契約の件((仮称)つがる市一般廃棄物最終処分場建設工事)	◎ 可決

## 平成30年度一般会計決算の状況

※1万円未満四捨五入

収入	234億3,549万円
支出	230億5,776万円
翌年度へ繰り越した財源	2,695万円
実質収支	3億5,078万円

9月定例会では平成30年度各会計の歳入歳出決算について、全議員による予算・決算特別委員会で審査し、いずれも認定されました。

# 平成三十年 各会計決算を認定

### 平成30年度の主な事業

- 公営住宅建設工事 4億 966万円
- 柏口マン荘増築工事 1億5,282万円
- 旧木造高校稲垣分校改修工事 1億1,930万円
- コミュニティセンター（玉水、沼館）建設工事 1億8,670万円

**一般会計** 市民一人あたりの支出 **712,913円** 小数点以下四捨五入

人口 32,343人（平成31年3月末現在 外国人を含む）で単純に算出したものです。

## 平成30年度一般会計予算はこのように使われました。

平成30年度一般会計決算額を市民一人あたりでみた場合、市民の皆さんが負担した市税（市税・固定資産税など）は76,226円で、市民の皆さんのために使われた予算は712,913円になりました。この差額は、地方交付税はじめ国・県などからの補助金等で賄われています。

### 各項目を一人あたりの支出に換算すると

端数調整をしています。

福祉・社会保障のために <b>212,448円</b>  29.8%	教育などのために <b>72,004円</b>  10.1%	道路などの整備に <b>69,153円</b>  9.7%	保健や環境衛生などに <b>63,449円</b>  8.9%	消防・防災対策などに <b>40,636円</b>  5.7%
農業・商工・観光振興などに <b>62,736円</b>  8.8%	議会運営のために <b>6,416円</b>  0.9%	その他のサービスなどに <b>57,746円</b>  8.1%	基金（預金）積み立てに <b>10,694円</b>  1.5%	公債費（借入金の返済）に <b>117,631円</b>  16.5%

## 平成30年度特別会計決算の状況

区分	収入	支出	繰越金	実質収支
農業集落排水事業	6億5,304万円	6億5,193万円	0	111万円
公共下水道事業	7億1,079万円	7億 970万円	0	109万円
国民健康保険	46億8,665万円	45億6,603万円	0	1億2,062万円
後期高齢者医療	7億2,185万円	7億1,509万円	0	676万円
介護保険	48億2,192万円	47億7,142万円	0	5,050万円

## 提出された議案をピックアップ

議案第50号 つがる市印鑑条例の一部を改正する  
条例案

1

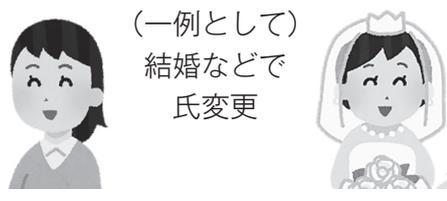
### 旧姓(旧氏)の印鑑で 印鑑登録ができるようになります

令和元年11月5日施行

◇社会において旧姓を使用しながら活動する女性が増え、女性活躍推進の観点から様々な場面で旧姓を使用しやすくするため、旧姓の印鑑による印鑑登録を可能とするものです。

ただし、あらかじめ住民票の旧姓記載の請求手続きを行う必要がありますので、詳しくは市民課へお問い合わせください。

(一例として)  
結婚などで  
氏変更



旧姓 青森 さん → つがる さん

旧姓記載の請求手続きをした後、

**青森** の印鑑登録が可能

議案第54号 工事の請負契約の件  
(仮称)つがる市一般廃棄物最終処分場建設工  
事)

2

### 新たに一般廃棄物最終処分場が 建設されます

◇平成15年から稼働している木造・稲垣一般廃棄物最終処分場が今後1～2年で満杯状態となるため、新たに建設するものです。

**名 称** (仮称)つがる市一般廃棄物最終処分場建設工事

**場 所** つがる市木造菰植三好野 地内

**契約の相手方** 宮城県仙台市青葉区二日町1番地27  
鹿島建設株式会社東北支店  
常務執行役員支店長 勝治 博

**請 負 代 金** 19億8550万円(消費税込み)

**工 期** 令和元年9月14日から  
令和3年3月26日まで

**施設規模**

埋立容量	390000m <sup>3</sup>
埋立面積	77000m <sup>2</sup>
埋立対象物	一般廃棄物の可燃ごみ焼却残渣なら びに不燃ごみおよび粗大ごみ

### こんな質問が出ました

**問** 工事入札の参加条件は、  
**答** 条件付きの一般競争入札によって行われ、実績要件、地域要件、技術要件を満たしている業者を参加条件とした。

**問** 活用した補助事業は。また、市の負担はいくらか。  
**答** 循環型社会形成推進交付金(環境省)を活用し、補助率は3分の1で6億141万2千円となっているほか、過疎債は13億8400万円、一般財源は8万8千円を見込んでいる。



現在の木造稲垣処分場の様子



建設予定地

## 一般質問って？

議案審議と並んで一般質問は本会議の大きな柱となっています。当該自治体の行政一般を対象として議員は、市長や執行機関に対し、方針や事実等の説明を求めたり、所見を聞くことができます。

### 一般質問の通告



円滑な議事進行を図るため、何をテーマで、どのようなことを聞くかをまとめ、議長へ文書で提出します。

### 議会運営委員会



議会運営委員会において日程等を決定します。

### 一般質問



議場において疑問点と自分の意見などを発言し、市長などからの答弁を求めます。

そのほか、一例として…

## 一般質問のルール



1人1時間以内

### 一括質問

または

### 一問一答

を選択

**一括質問**は通告した項目をまとめて質問します(質問は3回まで)。  
**一問一答**は1回目の質問は一括して行い、2回目以降は通告した項目1つずつ質問します。質問回数に制限はありません。



発言はすべて簡明にするものとし、議題外の発言にならないよう努めます。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



いつわかい 五和会 なりた 成田 かつこ 克子

**問** 手話はろう者にとって言語であり、命の言葉である。これを広く市民にも理解を深めてもらえるように、手話の普及を目的とする手話言語条例の制定を提案してきたが、現在の進捗状況は。

**答** 条例制定に向け、県内の制定自治体等との情報交換を進めています。手話は言語であるという認識に基づき、実効性のある条例となるように関係各位の意見を取り入れ、市民等への啓発や機運の醸成を図りながら準備を進めて、早期に条例案を提案したいと考えています。

**問** 10月から実施される幼児教育、保育料無償化の概要は。

**答** これは幼稚園、保育所および認定こども園における3歳から5歳児までの保育料が10月から無償となるもので、非課税世帯に限り0歳から2歳児までの保育料についても無償となります。なお、3歳から5歳児までの副食費はこれまで保育料に含まれていましたが、国の制度では原則保護者負担となります。

●手話言語条例制定の進捗状況は  
●幼児教育、保育料無償化の概要は

**問** つがる市の0歳から2歳児の人数は。そのうち、保育料無償化の対象にならない人数は。

**答** 0歳から2歳児までの保育所等利用児童は408人（8月現在）で、そのうち、非課税世帯の児童が69人、課税世帯の児童が339人となっております。この課税世帯の児童が国の無償化の対象となりません。

**問** 3歳から5歳児の副食費を市で助成できないか。また、課税世帯の0歳から2歳児の保育料についてはどうか。

**答** 第1子の助成については考えていませんが、第2子に対する支援事業は継続する考えです。また今後、次期総合戦略等の中で幼児教育・保育を含めた様々な施策について、実施できる事業かどうか総合的に判断していくことになるかと考えています。



いつわかい 五和会 はせがわえいこ 長谷川 榮子

**問** 世界文化遺産推薦候補決定を受けて機運醸成に向けた取り組みは。

**答** 主な取り組みとして、①田小屋野ウオーク、JOMON亀ヶ岡遺跡まつりの開催 ②ポランティアガイド養成講座 ③世界文化遺産推薦候補決定報告会 ④小学生対象の夏休み体験講座 ⑤市役所、松の館等に立て看板、壁面看板、懸垂幕設置 ⑥小中学校への出張講座 などを実施しており、今後は小中高生へ記念クリアファイルの配布、世界遺産PRとして公用車のラッピングなどを考えています。そのほか、県の登録推進本部などと連携を図り、市内外に広くアピールしたい考えです。

**問** ガイダンス施設の整備は。

**答** ガイダンス施設は亀ヶ岡遺跡の隣接地に将来、整備するものとして今年度は建設用地を取得します。施設整備にあたり展示構成・資料等について専門家の意見を伺うなど、運営面と財政面を考慮して計画するほか、補助金等を含めた国・県からの指導なども必要とするため、一定期間を要すると予想しています。

●世界遺産登録に向けた地域活性化策は  
●メロン・スイカフェスティバルの改善点は

**問** 世界遺産登録された場合の地域活性化策は。

**答** 世界遺産登録の本来の目的は恒久的な遺産の保全であり、直接、観光振興を目的としていません。しかし、登録によって来訪者の増加が見込まれるため、対策が急務となっております。まずは、登録に向けた市民意識の向上や遺跡等の保全を第一に考えた上で、観光振興など関係機関等と連携し、方策を検討したいと思えます。

**問** メロン・スイカフェスティバルについて検証したか。また、改善点は。

**答** 目玉であるメロン・スイカ販売は昨年より販売数を増やしたものの、お昼前に完売し、購入できなかった方には、市内直売所を紹介しました。完売の要因として、市場価格の半額程度でメロン・スイカが購入できることや大量購入者の増加が考えられますが、生産組合等の生産量や市場出荷のバランスを考慮すると今以上の販売数の増加は厳しいため、より多くの方が購入できるように購入数に制限を設けるなど、関係機関の意見を聞きながら改善策を検討したいと思えます。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



ひろし 成田 なりた 五和会 かつわかい

**問** 家庭用と農業用の廃プラスチックの状況は。

**答** 一般家庭から出るプラマークのあるプラスチックごみの処分量は平成30年度261tで、農業用廃プラスチックごみは186tとなっています。市では農業用廃プラスチックの適正処理の推進を図るため、農業用プラスチック回収対策事業として補助金を農家へ交付しており、平成30年度の実績は93万円となっています。

**問** 今まで農業用廃プラスチックを受け入れていた業者が撤退したことによって、青森などに直接、搬入しなければならなくなったが、高齢農家の負担軽減のために搬入場所を市に設けられないか。

**答** 施設や許可などの面から設置は現在のところ考えていません。市としては処理費用の一部を助成することで対応したいと考えています。

**問** 風力発電設備によって見込まれる固定資産税額は。

**答** 大型風力発電設備49基の固定資

●廃プラスチックの  
現況と対策は  
●風力発電設備の現況は

産税は20年間で約50億円を見込んでおり、地方交付税はその増収分の75%が減額となるため実質は12億5千万円ほどの増収になると思われます。

**問** 住民から騒音や電磁波の健康被害の声を聞くが、市の相談窓口はどこか。その対応は。また、発電設備周辺の電磁波などの調査を市で実施してはどうか。

**答** 苦情、相談については、基本的には発電事業者が対応すべきと考えますが、市の企画調整課で対応しています。これまで苦情が1件あり、事業者に対し改善を求めました。今後も苦情等があれば事業者に対し適切な対応をするよう強く働きかけていきます。また、大型風力発電設備については、環境アセスメントの対象であり、事業者において電磁波などの予測値を調査しているほか、建設後にも調査することになっているため、市で実施する必要はないと考えています。

**問** 人口減少の現状について市はどのように捉えているか。

**答** 市は子育て・若年夫婦世帯移住応援事業などの支援策を講じてきました。平成30年度の転入者数は前年度より39人増加しており、これら事業は一定の成果をあげていると考えています。今後も若者が希望する結婚や子どもを産み育てることが叶う社会の実現、若者をはじめとした働く場の確保など地域で一丸となって人口減少対策の推進を図っていくことが重要と考えています。

**問** これまで学校給食費の完全無償化や出産祝金の支給など提案してきたが、地方創生関連事業の練り直しや増子化に向けた新たな事業は考えているのか。

**答** 第2期つがる市地域活力創生総合戦略策定作業の中で、市民2千人を対象としたアンケートの分析調査結果が10月に出るところです。また、東京のふるさと回帰支援センターにおいて、つがる市出身者を含めた20代から30代の首都圏在住の方を対象にワーク



たかし 孝志 たかう 佐藤 さとう 絆心会 きしんかい

●人口減少対策・増子化に向けた新たな施策を

シヨップin東京を8月に開催しました。アンケートやワークシヨップでの意見を参考に本市に合った効果的な事業を考えていきたいと思っています。

**問** 10月から国の幼児教育・保育料無償化制度が始まるが、3歳から5歳児の副食費が実費となり負担額は施設によって異なるということだが、これを統一化できないか。

**答** 各施設において、食材料の仕入れ等が異なるため、市で統一を図るとは難しいと考えています。

**問** 幼児教育・保育料無償化制度により市の第2子支援助成事業費が抑えられるため、その分を副食費に充てられないか。

**答** 次期総合戦略等の中で幼児教育・保育を含めた様々な施策について、実施できる事業かどうか総合的に判断していくことになると考えています。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



きしんかい 渡  
さいとう 齊藤

**問** 夏の降水量は極端に少なかったが農作物の収穫量の減少や品質の低下など、具体的な報告はあったか。

**答** 雨不足の状況により、農作物への影響が懸念されましたが、主だった被害の報告は受けていません。現時点の農作物の生育状況として、野菜ではスプリングフラワー等のかんがい設備のある圃場では影響がないものの、それ以外の圃場では一部に生育不良や品質低下の作物があったほか、りんごに若干の肥大鈍化が見られました。水稲については、出穂期の最も用水を必要とする期間にかんがい用水を確保できたため、影響はないと考えています。

**問** 天候不順によって収穫量の減少や価格が下落した場合の補償制度は。

**答** 転作作物に対する経営所得安定化対策として水田活用の直接支払い交付金が支払われていますが、野菜やりんごに対してはこのような交付金・補助金はありません。価格下落部分を補填する制度については野菜・花き価格安定対策事業、りんご経営安定化対策事業がありますが、作物ごとに複数の

●天候不順による農作物への影響は

●教育現場におけるICT環境の進捗状況は

制度へ加入しなければならぬことや共済制度がない品目もあるなど課題もあるため、自然災害や価格低下など収入減少を広く補填する収入保険への加入が有効と考えています。

**問** 小中学校でプログラミング教育が始まるが、教育現場におけるICT環境の進捗状況は。

**答** 市内すべての小中学校にコンピュータ室を設け、1クラス全員が利用できる数のパソコンを整備し、ほとんどの普通教室でインターネットへの接続が可能となっています。国および青森県の普通教室における無線LAN整備率の平均は30%台であることに對して、本市は90%を超えているほか、120台の電子黒板や指導者用のデジタル教科書も整備しており、ICT環境は県内でもトップクラスと言えると思っています。

**問** 将来つがる市へ帰ってもらおうような奨学金制度を創設できないか。

**答** ほかの自治体の例など調査研究したいと考えています。



いづわかい 五和会  
いとう 伊藤  
りょうじ 良二

**問** 人口減少対策としてイオンモールつがる柏周辺をベッドタウン化してはどうか。

**答** 庁内で宅地分譲に係るプロジェクトチームをつくり、どうすれば若い人たちが定住するのか鋭意検討中です。

**問** 建設予定の総合体育館はどのような機能を持っているのか。

**答** メーンアリーナは公式規格のバレーボールやバスケットボールコート2面、柔道では国体基準で3面あり、固定観覧席2528席、2階観覧席周囲に1周260mのランニングコースを可能としています。サブアリーナは公式規格のバスケットコート1面と108席の観覧席を確保するほか、選手控室や審判会議などに利用できる多目的室、キッズコーナー、授乳室などを設け、各種スポーツ大会やイベント等に対応できる機能を有しています。また、災害対策機能として災害拠点対策室を設けて災害時の避難者収容を考えています。

●市の人口減少対策は  
●総合体育館の概要は  
●市長の基本姿勢は

**問** 市長の財政に対する基本姿勢は。

**答** 歳入に見合った効果的・効率的かつ基金取崩しに頼らない健全な財政運営を目指し、つがる市総合計画に基づいた取り組みを推進してきました。また、事務事業の見直しや事業選択、人件費の削減等により歳出の抑制を徹底した結果、財政調整基金については標準財政規模の10%以上が適正とされている中、19%を確保しています。今後、大規模事業が継続されるため、令和4年度には地方債現在高のピークを迎えることとなりますが、これからも実質公債費比率や将来負担比率等の各財政指標にも注視しながら、健全な財政運営に努めたいと考えています。



# 予算・決算特別委員会

## 令和元年度補正予算と 平成三十年度決算の審査内容をお伝えします



委員長  
ささき 直光  
佐々木 直光

議案第32号  
令和元年度つがる市一般会計  
補正予算(第4号)案

農地耕作条件改善事業補助金  
351万4千円

問 暗渠排水事業において、これまで  
までに工事した総面積は。また、今  
後の計画は。

木村 良博 委員

答 平成27年度から平成30年度に  
かけて工事した総面積は775.76  
haで今年度は柴田、菊川、千代  
田、越水、繁田地区において、10  
0haの整備を予定。そのほかに70  
ha分、予算が多く配分されたため、追  
加分として菰植地区を対象に整備す  
る。また、過去に圃場整備した工区  
の農家や意欲ある農家などからも要  
望を聞いて、300ha程ずつ工事し  
ていきたいと考えている。

議案第36号  
平成30年度つがる市一般会計  
歳入歳出決算の認定を求めるの件  
(※千円未満四捨五入)

住宅使用料  
不納欠損額 72万8千円  
収入未済額 2194万6千円

問 不納欠損処分、収入未済となっ  
ている人数は。また、そのような処  
分にならないように保証人を設定し  
ているか。

佐藤 孝志 委員

答 不納欠損については1人、収入  
未済では現年分の滞納者が26人、滞  
納繰越分では35人となっている。ま  
た、連帯保証人は住宅申し込み時に  
設定し、その後亡くなった場合は  
再度、設定をお願いしている。

ふるさと納税寄附金  
1989万5千円

問 つがる市民が他市町村へ寄附  
したことによる減収額は。

齊藤 渡 委員

答 つがる市民がほかの自治体へ  
寄附した額は635万円であり、住  
民税控除額311万円が減収となる。

問 ふるさと納税に係る経費など  
差し引くと実質額はいくらか。

答 ふるさと納税にかかった経費6  
29万円と減収分311万円を差し  
引くと1050万円の黒字となる。

地域おこし協力隊事業費  
362万1千円

佐々木 敬藏 委員

問 地域おこし協力隊の活動内容  
は。

答 地域外からの視点を活かし、地  
域の新しい魅力を発信していくもの  
で、現在4人いる。「観光」、「空き  
家を活用した地域づくり」、「地域資  
源の活用」、「つがるブランドPR」  
をそれぞれ担当し活動している。



イベントの司会もこなす  
佐藤 菜優 隊員 (右)

扶助費

9億4934万4千円

問 生活保護世帯数と人数は。市  
の負担割合は。

成田 克子 委員

答 平成30年度実績で585世帯、  
700人の生活保護者がいる。国は  
4分の3、市は4分の1を負担して  
いる。

生活困窮者自立相談支援事業委託料  
893万5千円

野呂 司 委員

問 事業内容および委託先は。

答 生活困窮者に対し、自立した  
生活を送れるよう包括的に支援する  
もので、委託先は社会福祉協議会と  
なっている。

放課後児童クラブ事業費  
4593万9千円

田中 透 委員

問 放課後児童クラブは共働き世  
帯にとって必要不可欠であり、子育  
て支援策として、さらに効果を上げ  
るためにも利用料を無償化できない  
か。

答 次期総合戦略等の中で実施で  
きる事業かどうか総合的に判断して  
いくことになると考えている。

認定こども園等整備事業費補助金  
1億2492万4千円

成田 博 委員

**問** 改修の要望をしているこども園はいくつあるか。また、その対応は。

**答** 現在、5力所から改修の要望があり、緊急性・重要性について調査した後、子ども・子育て会議の意見を聞きながら改修する施設等を決定する。



農業次世代人材投資事業  
3893万8千円

秋田谷 建幸 委員

**問** この事業における国の予算が12%程減額になったと報道されたが、市への影響は。

**答** 今年度4人の新規就農者の申し込みがあったが、国の予算が配分されないため支給できずにいた。8月下旬に予算の配分が示されたため、これから支給できる見通しである。

旧木造中央公民館講堂移築保存費  
4081万2千円

長谷川 榮子 委員

**問** 講堂の活用方法は。また、駐車場への出入り口を改良できないのか。

**答** 講堂は歴史ある建造物であるため、式典や表彰式などの会場としての利用のほか、音楽イベントの開催、芸術作品の展示会場としての活用を考えている。駐車場については松の館南側へ整備しており、講堂建設前より若干広くなる予定だが、混雑なども予想されるため、検討したいと考えている。

保健体育施設管理費

2844万1千円

伊藤 良二 委員

**問** 総合体育館が完成した後、既存の体育館は廃止していく考えなのか。

**答** 公共施設等総合管理計画では、新たに施設を建設した際は、既存施設の廃止等を進めるとしている。市民生活への影響があるため、すぐに廃止に至らないと思うが、将来的には廃止する方向で維持管理費の抑制を図っていかねばと考えている。

## 行政視察受入 ようこそつがる市へ

### つがるブランドと販売戦略について

10月1日、大分県杵築市議会（産業建設常任委員会4人）

### 北海道・北東北の縄文遺跡群におけるユネスコ文化遺産登録に向けての対応について

10月15日、秋田県鹿角市議会（会派4人）

視察では、事業実施に至った経緯や課題など担当者が説明し、活発な意見交換が行われました。



挨拶をする杵築市議会



説明を受ける鹿角市議会

## 議員研修会レポート

10月8日、議員らは三沢市において開催された青森県市議会議長会議員研修会に参加した。

「元号と日本文化」をテーマとした大東文化大学文学部 宮瀧交二教授による講演があり、日本最初の元号「大化」から248番目となる現在の「令和」に至るまでの元号の変遷や改元を行う際の手続きの方法について詳細な説明があった。

今回の令和の改元は憲政史上初となる生前退位によるもので、新天皇が即位する前に新元号の公表に至ったことで国民は新元号について予想・議論する機会ができた。また、元号に対する国民の考えは変化してきていることにも触れて話された。改めて元号について考えさせられ、見分を広める意味でも有意義な研修となった。



## 成田博議員へ感謝状贈呈

9月8日、成田博議員へ航空自衛隊第6高射群倉田裕 司令より感謝状が贈呈されました。

これは平成19年2月以来、つがる市議会議員として車力分屯基地の諸行事、広報活動等を積極的に支援したほか、平成19年2月からつがる市防衛議員連盟幹事長を経て、平成31年2月からはつがる市防衛議員連盟会長を務め車力分屯基地の良き理解者として、つがる市の生活安定に貢献してきた功績によるものです。



第6高射群倉田裕 司令から  
感謝状が手渡されました

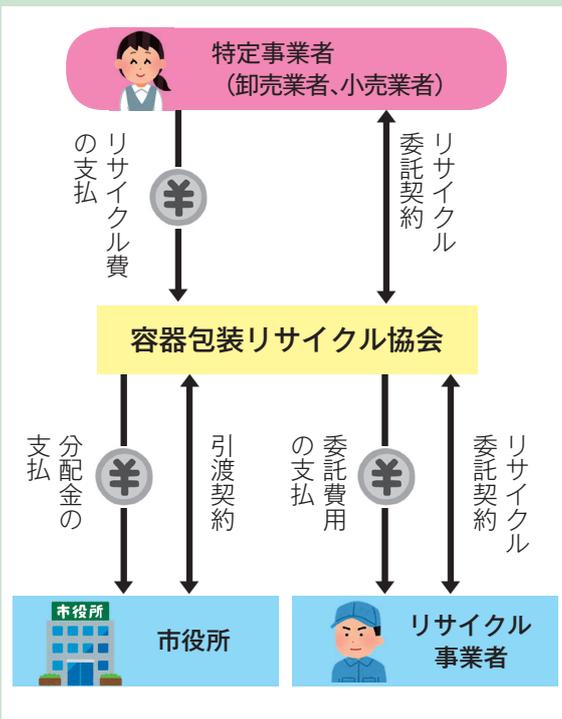
## 「容器包装リサイクル再商品化分配金」

市は、市民の皆さんが分別し排出した**ペットボトル・プラスチック製容器包装**を収集し、公益財団法人**日本容器包装リサイクル協会**（以下「協会」）が指定するリサイクル事業者へ引き渡しています。

引き渡した資源に異物の混入や汚れが少なく品質が良い場合や費用の低減に貢献した場合には、協会から**容器包装リサイクル再商品化分配金**が配分され、平成30年度ではおよそ224万円の分配金がありました。

市民の皆さんによってペットボトル・プラスチック製容器包装が適切に分別されると**貴重な歳入となる分配金が増える**ほか、**ごみの減量**にもつながりますので、これからも引き続きご協力をお願いします。

※ごみの分別の方法等については環境衛生課へお問い合わせください。



## これまでの議会の活動の一部を紹介します

8月	27日	議会運営委員会
9月	2日	令和元年第2回つがる市議会定例会開会
	5日	定例会一般質問
	9日～10日	予算・決算特別委員会
	11日	教育民生常任委員会、経済建設常任委員会 総務常任委員会
10月	13日	令和元年第2回つがる市議会定例会閉会
	8日	青森県市議会議長会議員研修会（三沢市）
	17日	市議会だより編集委員会
	23日～25日	総務常任委員会行政視察（宮崎県）
	28日～29日	要望活動（総務省、防衛省、東北防衛局）

### お詫びと訂正

市議会だより第62号P11教育民生常任委員会の行政視察報告について、誤りがありました。関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

（誤）鱈ヶ沢町母子保健センター → （正）鱈ヶ沢町母子支援センター

## 議会中継を ご覧いただけます。

本会議などの様子をインターネットで中継（ライブ中継、録画中継）しています。



つがる市議会 インターネット中継

議会は手続き不要でどなたでも傍聴できます

## 次回定例会予定

# 12月

詳しくはホームページをご覧ください  
だくか議会事務局  
にお問い合わせください。



「つがる」編集室

近年、異常気象といわれる長雨、豪雨、かたや干ばつ、酷暑、そして台風。今、各国では各々の利害関係で騒がしくなってきたりしますが、地球規模の環境破壊や温暖化問題にもっと目を向けるべきだと思います。私たち住民にとっては災害のない毎年同じような穏やかな日々であってほしいと願うものです。

しかし、目を転じて、議会としては日々穏やかなことが続くことは、市民から見ればどう映るのでしょうか。順風過ぎると活気もなく、ぬるま湯につかっていると見る人もいるのではないのでしょうか。

市民から負託を受けた私たちは、大嵐では困るが、多少の波風が立つような活気のある議会をこれからも心掛けて市民の期待に応えていくべきと思っています。

（佐々木直光 記）

■市議会だより編集委員会  
委員長 長谷川榮子  
副委員長 伊藤良二  
委員 佐々木直光  
委員 野呂木司  
委員 齊藤建幸  
委員 秋田谷幸